



あめくっこだより 天久っ子便り

第14号

令和3年6月25日(金)
発行者：校長 宮里 寿子

平和週間 「命どう宝(ぬちどうたから)」 ～命の尊さについて考え、みんなで、平和を願おう。～

今から76年前、第二次世界大戦中で唯一地上戦が行われた沖縄では、たくさんの命が失われました。そこで本校では、6月23日の「慰霊の日」に合わせて、戦争の恐ろしさを知り、命の尊さについて考え、平和を願う目的で「平和週間(6/21～25)」に取り組んでいます。

今年度は、「命どう宝(ぬちどうたから)」の文字を折り鶴で表現しました。「命」を4年生、「どう」を3年生、「宝」を5年生が作成しています。沖縄の方言で「命こそ宝である」という意味です。現在、センターホールにて掲示されています。思いが込められた、素晴らしい作品となりました。他にも「児童・生徒平和メッセージ 最優秀賞受賞「大切なおくりもの(2年：知念由依さん)」の作文も掲示されています。また図書館前では、「沖縄戦パネル」が開催され、子どもたちが足を止めて、見ています。戦争の恐ろしさを感じているようです。

6月22日(火)2校時は、全校で「平和学習会」。児童会の江夏咲希さん、崎浜百杏さんの二人が「平和宣言」(右図)を行った後、1年生は絵本「へいわってすてきだね」の読み聞かせ、2年生以上はアニメ「ひめゆり」を見ました。そのあと、「明るく元気にすごします(1年生)」「みんなと仲良くします(2年生)」「やさしい言葉を使う、思いやりのある子になります(3年生)」「お互いの良さを認め、仲良くします(4年生)」「相手の気持ちを思いやることのできる人になります(5年生)」「毎日平和に過ごせることに感謝しよう。私達が住む沖縄の美しい空、美しい海を見て、生きる喜びを感じよう。武器を使わずに話し合って解決していこう。そしてみんなで築いていこう、戦争のない平和な世界を(6年生)」と誓いました。「命どう宝」、ご家庭でもお話ししてみてください。



平和宣言
沖縄は、昔、戦場だった。
多くの尊い命が、失われた。
今日、戦争の悲惨さを改めて知った。
戦争は、家族を失う、友達を失う、
そして、心を失う。
人間が、人間でなくなる
おそろしい戦争を
二度とくり返してはならない！
そのために
私たちができることは、なんだろう。
戦争の苦しみを知る。
命の尊さを、知る。
平和の尊さを、知る。
次の世代に
学んで感じたことを、伝えていくこと。
毎日、平和に過ごせることに感謝しよう。
武力を使わずに話し合って解決していこう。
私たちが住む沖縄の
美しい空、美しい海を見て
人々を思う、島ちゅの心を育み
生きる喜びを感じよう。
そして、みんなで築いていこう。
戦争のない
平和な世界を！



児童会・平和宣言



読み聞かせ(1年)

音楽朝会 ～いのちのリレー、にじ(手話)～

昨日24日は音楽朝会でした。今月の歌は、平和週間の取り組みと関連して「いのちのリレー」(歌：さんご：Kiroro&仲宗根泉(HY))。音楽専科の金城典子先生から、歌の誕生秘話が紹介されました。今回も声を出して歌えず、放送を聞きながら歌詞を確認しました。もう1曲は「にじ」。どの学年も上手に手話で表現していました。

